

12月の行事予定



日	月	火	水	木	金	土
						1 伝統芸能鑑賞会 (わんぱく寄席)
2	3	4	5	6	7 第1回 入学説明会	8 休業日
9	10 5年生 お正月飾り作り	11 避難訓練 *11日よりB時程	12 希望個人面談	13	14	15 父母の会講演会
16	17	18 終業式	19 6年 冬季補習6日間 もちつき(6年) 冬季休業	20	21	22
23 天皇誕生日	24	25	26	27	28	29
30	31					

12月の生活目標

重点目標 <文教っ子ハケ条 第七条 困っている友達に進んで声をかけることができること>

- ◎ 言葉づかいに気をつけよう
- ◎ 進んで仕事をしよう

- ・相手を思いやった言葉づかいをする。・丁寧な言葉づかいをする。
- ・係や当番、委員会の仕事を進んでやる。

日頃の言葉づかい見直してみましょう <文責：教頭田中 宏一>



「え？」

と、聞き直したことはありますか。また、聞き直すときは、どんな時ですか。話を聞きそびれたときでしょうか。急に話しかけられたときでしょうか。今までに、一度も、聞き直したことがない人は、いないと思います。

しかし、相手が一生懸命に話している途中で、「え？」と聞き直されたら、相手はどんな気持ちがするのでしょうか。一生懸命に話していればいるほど、良い気持ちにはならないことでしょう。ちなみに英語で聞き逃したときに、どういう言い方を調べてみたところ、いろいろと言い方はあるようでしたが、Sorry?やExcuse me could you repeat that.と言うようです。どちらにも「(聞き逃して)すみませんが。」という気持ちが入っています。聞き逃してしまうことはよくあることです。もう一度言ってもらうことは決して悪いことではありませんが、さも相手の言い方が悪かったように聞こえてしまう「え？」という一言では、済ませないようにしたいものですね。特にこの「え？」は癖になります。ちゃんと聞こえていても、確認のために「え？」と言ってしまう人はいませんか。友達と仲良く楽しく過ごすためにも、2学期のまとめの12月です。

言葉づかいに気を付けて過ごしましょう。

それぞれのご家庭でも何かと慌ただしい師走だと思いますが、見過ごしがちになる言葉遣いを今一度ゆっくりと見直す機会としていただきますよう。よろしくお願ひいたします。





学校だより

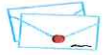
平成 30 年度 12 月号

文教大学 附属 小学校

<https://www.bunkyo.ac.jp/bkshogak/>



心をはこぶ「お手紙」！



～「文教ゆうびん局」がもたらしてくれたもの～

校長 島野 歩

師走。冬将軍の到来です。今朝も校門に立っていましたら、4年生の女の子がうれしそうに伝えてくれました。「先生、朝ね、外に出てハーってしたら、息が白くなったの！見てみて！ほらー！」思わず一緒に、息が白くなるのを楽しみました。子どもたちは、何気ない日常をよく見えています。季節の移り変わりを感じ取る天才です！四季折々を子どもと共に感じ、楽しめる日々をこれからも大切にしていきたいです。

さて、2年生を中心として活躍する「文教ゆうびん局」が、11月17日までの3週間長きにわたって実施されました。学校内を行き来したはがきの数は、なんと約800通！2年生の郵便屋さん、毎日の集配から配達に至るまで本当に大変だったことと思います。心から「本当にありがとう！」・・・うれしいことに普段なかなか話すことのできない異学年間のやりとりが圧倒的な数を占めていました。これは、縦割りのつながりを大切にしてきた本校ならではの現象かもしれません。

SNS やLINE など、連絡がいつでもどこでも取りやすい時代です。気持ちも伝えることが容易となりました。

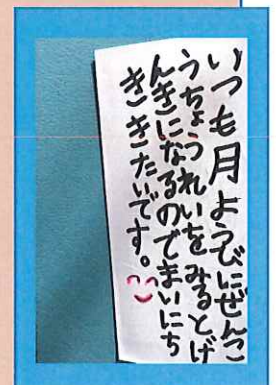
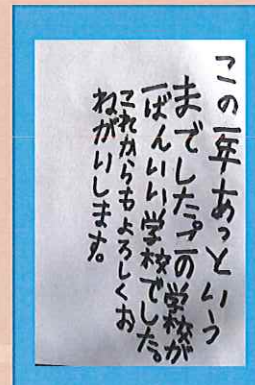
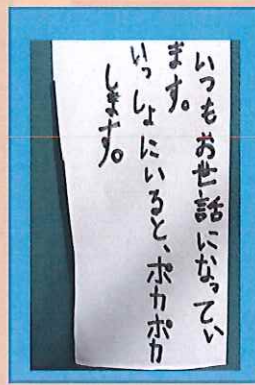
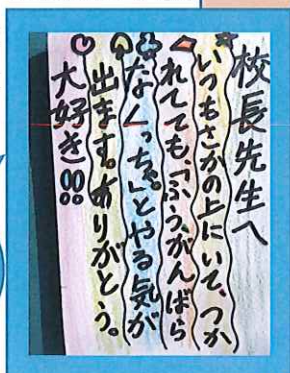
だからこそ、年月がたっても何度も読み返して、いただいた方からの思いに感謝する。そのような手紙やはがきの良さを感じる良い機会となりました。

子どもたちに届けられたお手紙がこれからの人生の糧そして宝物になりますように。

お手紙・おはがきの「魅力」

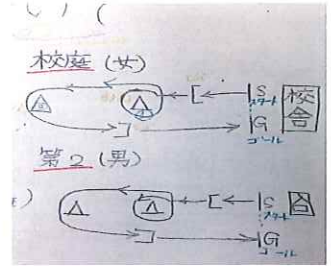
- ① **手書きの良さ**・・・同じ言葉でも、手書きですと人からや気持ちが文字を通して伝わってきます。
- ② **読み返せる良さ**・・・ふとしたとき、ちよつとしたとき何度も味わいながら読み返せます。励みにも！
- ③ **新鮮であることの良さ**・・・ネット社会の今だからこそ、すぐに届くメールとは違い「時差」も不思議と新鮮！
- ④ **相手をよく知ることの良さ**・・・レターセットひとつそして、ちよつとしたイラストひとつにも、相手の思いや人柄をうかがい知ることができます。

いただいた
たくさんのお手紙
宝物にします。



子どもたち(代表委員会)企画による
 子どもたちのための 縦割りわくわくタイム
 「レッツゴー！フラフープ！」
 「ジェスチャーゲーム」「絵しりとり」

11月20日(火)21日(水)、代表委員会の企画により
 縦割りで楽しく遊ぶ「レッツゴー！フラフープ！」
 「ジェスチャーゲーム」「絵しりとり」が実施されました。
 チーム分けからルールに至るまで、緻密に計画され、
 両日の中休みは、あちらこちらから楽しそうな歓声
 が挙がっていました。



「縦割り活動」を通じて
 心を育んでいくことは
 本校の教育活動の特色のひとつです。
 みんながみんなの顔を知っている。
 困った時は、学年学級を問わず
 優しく手をさしのべてくれる。
 そんな関係をこれからも大切にしていきます。

男子は1組 女子は2組

	1年教	2年教	3年教
男子	1~3班	4~6班	7~9班
女子	1~3班	4~6班	7~9班
2組	1~3班	4~6班	7~9班

↑代表委員会の企画書

上級生から「優しくされた」経験は
 自分が上級生になったときに
 自分も優しくできたことで
 ひとつの「答え」がでます。



全国小学生グループプレゼンテーション大会 健闘

Aチーム第2位! Bチーム第6位!

出場者

5年1組 馬場外志史くん
森田圭幸さん
渡辺由季さん

5年2組 中村匠くん
平林隼くん
矢野祥太郎くん
竹川舞さん
寺田理紗さん



9月17日(月)全国プレゼンテーション大会が開催され、本校から、5年生の8人がAチームBチームとして出場しました。

大多数の学校の出場者が6年生であったにもかかわらず、それぞれ5年生の2チームが果敢に競い合いました。

結果は、Aチームが決勝まで勝ち進み第2位! Bチームは初めての全国参戦にも臆せず第6位! 両チームとも、プレゼンによる素晴らしい戦いぶりでした。その健闘に心からの拍手をおくります。

2018年9月17日(月:祝日)開催

宝仙学園高等学校共学部 理数インター(東京都中野区)にて開催されました。



論題は小学生にとって未来の創造を考えさせるもの

プレゼンテーションのテーマとなる論題は、小学生にとって身近でありつつも、ある程度社会的課題や社会情勢をよく知らないと考えられないものが選定され、出場者には、当日会場で発表されます。

今回の論題 **「20年後、30年後に、栄えていると思われる職業は何ですか。」**

⇒Aチームの提案「ご高齢者専用ジム」 Bチームの提案「スズメバチ駆除業」

午前中は模造紙に提案をまとめる

午前中は、チーム全体で議論をしながら、現状の問題点、具体的な方策、必要な物資、提案のセールスポイントを、模造紙に決められた色の付箋で貼っていきます。

最後に、カラーペンで見やすいようにグループ化したり、装飾したりしてプレゼンテーションシートを完成させます。

(制限時間 2時間半)



午後は

プレゼンで

対戦(審査)



午後は、作成したシートを使って、プレゼンテーションと質疑応答で対戦します。**相手のプレゼンの良さを引き出したり、説明不足を解消したりするような質問は高く評価され、相手を言い負かすような強い質問や自分の意見を押し付けるような質問は低く評価されます。**本校の子どもたちのプレゼンはとても質の高いものでした。素晴らしい!